



破傷風と咬傷 まむし咬傷

破傷風

【病態】

破傷風菌が体内に侵入し、菌が増殖する際に産生する神経毒素により強直性痙攣を引き起こす病気です。破傷風菌は「芽胞」という形で土壌中に広く常在しており、家畜の腸内や糞中にも生息します。事故などで外傷を負った際に傷口から芽胞が侵入して感染を引き起こします。古釘を踏ん



的です。

【治療】

抗破傷風人免疫グロブリン（薬剤名テタノブリン）の投与。さらに感染部位の十分な洗浄や汚染している創では切開して開放を行い抗菌剤を投与、对症治疗として抗痙攣剤投与、呼吸や血圧の管理も重要です。

治療は出来る限り早期に医療機関を受診しましょう。回復した患者様でも十分な免疫が出来ていないのでワクチン接種をして免疫を獲得する事が望ましいです。

【症状】

口が開きにくい、しやべりにくいなどの開口障害、舌の運動障害、肩こり、歩行障害、全身痙攣などで、適切な治療がされないと致死

【予防】

予防接種法による三種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風）の定期予防接種が開始され



た以後破傷風の患者様の死亡者数は減少しています。

三種混合は生後三ヶ月以上から九〇カ月未満に四回接種で基礎免疫を付け、十一歳から十三歳未満に二種混合（ジフテリア、破傷風）の追加接種を行います。

まむし咬傷

まむしは、水辺、草むら、土手、山地、森林などあらゆる場所に生息しています。全長45〜85cm位で小型、毒性は強いです。

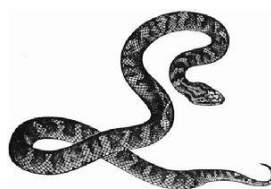
年には副作用により三種混合が中断されました。この時期に生まれた人は破傷風の予防接種を受けていない可能性があります。

厚生労働省検疫所では海外渡航者向けの有償予防接種を行っているほか、動物咬傷に対しても接種が推奨されています。

茶褐色の三角頭と、ずんぐりした体と銭型模様といわれる「丸かいてちよん」模様。茶褐色の丸い模様の中央に暗色斑点があります。

【特徴】

茶褐色の三角頭と、ずんぐりした体と銭型模様といわれる「丸かいてちよん」模様。茶褐色の丸い模様の中央に暗色斑点があります。



す。

《噛まれた時の症状》

1. 激痛、腫れ、皮下出血をおこし紫色になる。

2. 吐気、嘔吐、発熱、しびれ、視力低下等。

《一般的な救急対処法》

1. 安静にする。（走ると毒が全身に回りやすい）
2. 傷口より心臓側を布などで縛る（毒の広がりを防ぐ目的なので軽く縛る）縛る物があれば、噛まれた部分は心臓の高さよりも下にしておく。

処置を行っている間に救急車を呼ぶか、まむし血清を持っている医療機関に連絡し受診しましょう。

（看護師

大島 とき子）

